

第78回定期大会開催



侵略は許さない、要員改善で利用者要求実現、移動権の確立、物流のあり方を問い、1名の拡大改憲許さず、スローガンを実践しよう

執行委員長あいさつ

岩田副委員長の司会開会あいさつを受け、資格審査では8名の代議員中、8名全員の出席を得て、大会の成立を確認し、議長には名古屋分会選出の浜島代議員を選出しました。



NRU 国労なごや 発行責任者 土谷 敏幸 編集責任 教直部

親類の不幸によりやむなく欠席された土谷執行委員長に変わって、岩田副委員長が挨拶を代読しました。

9月3日、名古屋市内において第78回定期大会を開催しました。大会は感染防止対策を改めて徹底した上で通常開催しました。

コロナにより、JR各社は厳しい経営を余儀なくされ、経費削減等の施策を加速させている。JR東海は「集中旅客サービスシステム」を導入を拡大し、無人駅を増、駅員を減らし、窓口営業時間が短縮され、利用者アンケートからは介助が必要な方、ホーム転落防止、夜間防犯対策など不安の声が寄せられている。労働組合として労働条件改善と合わせ、検証と

要求実現を

侵略やめ 国連憲章守れ

ロシアがウクライナへの侵略を開始してから長期化が懸念される。双方の兵士が殺し、殺されている。理由は、どうあれ武力による侵略や国民への無差別殺戮は認められない。ロシアは侵略をやめ、国連憲章を守れの声がひろげよう。

私たちが分・民の闘いで、ローカル線廃止反対の運動も担ってきた。国民が等しく移動する権利の確立、鉄道ネットワークとして、利用者の視点に立ち、ローカル線を守っていくことが重要であり、地方から運動の展開が求められている。

運動のあり方 左右する

バス転換も

国交省は、提言を発表、環境が変化してきたことを踏まえ、在り方について検討していくべきとし、輸送密度千人未満を目安とし、国主導で事業者と自治体が路線の存廃を議論する新基準を示し、廃線を前提とし、かつ、結果として議論の中で廃線、バス転換もやむなしの判断もできることになる。

組織は財政とも直結した最重要かつ必須の課題であり、これからの機関運営や運動のあり方をも大きく左右する喫緊の課題である。次世代へ引き継いでいくことを第一に各機関・各職場で奮闘を要請する。

防衛費増 負担押し付け

組織は財政とも直結した最重要かつ必須の課題であり、これからの機関運営や運動のあり方をも大きく左右する喫緊の課題である。次世代へ引き継いでいくことを第一に各機関・各職場で奮闘を要請する。

HIPを活用し 方針の実践を

国民生活は、医療費や物価の高騰、コロナ禍による収入減や年金はカットなどで苦しむ国民をしり目に、ロシアによるウクライナ侵略、台湾危機等に乗じて防衛費の二倍化を狙うが、その財源は、消費税増税や医療・福祉・教育費の削減になる。

地方交通線をはじめその前途が危ぶまれている今こそ、我々国労の出番であり、その任務・使命を果たそう。

発言



○始業前不払労働が改善。二名泊が一名へと負担増。ポイント清掃車移動で業務増に。駅トイレ無く負担押し付け許されない。(名古屋・小林氏)

○職場で空調服が共用で配備、個人へ。構内安全通路の塗色は赤は相応しくない。コロナに乗じた始業点呼省略は伝達漏れにつながる。(名古屋・小川氏)

○あおなみ線で10年働く。設備老朽化激しい。三年計画でホーム柵交換。駅・本社は採用あるが電気無しで現在六名中二名出向者、技術継承が危機。(稲沢・堀氏)

○47年間国労で来た。分割民営化をめぐり過程で人材活用センター配属となり昼食が食べられない。自分にとってつらい事がたくさんあった。退職となるが皆さん奮闘を。(中央線・山崎氏)

○安倍元首相の国葬は許されない、大会名で中止要請を。本日は組合加入の公平扱いを会社に求めよ。様々な職場要求改善へ努力を。(岐阜・大橋氏)

○割引証購入、一部改善に。職場コロナ対応緩和を。女性社員、安全靴速やかな対応を。修繕費の削減深刻に。現物見張体制無くし、思考停止助長。分会、葉書で連絡取り取り。(名古屋・尾崎氏)

れ、交通権浸透。議論し、国への要請を。(中央線・亀井氏)

○質疑討論を受け、東海本部高木業務部長から質問への答弁があり、地本協田業務部長から質問への答弁を受けました。

出向組合員からは、職場環境の劣悪さやハラスメントやただ働き横行、プロパー社員を巻き込んだ要求確立から団交を関連企業で繰り返す。不適正な始業時間は変更され、改善された。

JR貨物は、新規採用の抑制や、低額支給が続く期末手当。今春闘も低額回答に留まっており、社員犠牲を繰り返している。人事賃金制度は問題が多く、今後も取り組みの強化が求められる。名古屋貨物協議会では、春闘時の要求署名で他労組を含む80筆を獲得し、要求の正しさが確信に。

公共交通 公共道路としての鉄道路線の維持を求める取り組み、事故の原因究明・対策の確立を通じて、利益優先、安全軽視の経営を問う。

春闘 実質賃金指数の国際比較では韓国、フランス、イギリスなどと主要国が引き上げの中、日本はリーマンショックの時から全く変わっておらず、主要国の中で日本だけが1割も賃金引き下げ。物価上昇で我々の生計費は上がる一方、9月生活実態アンケートで実態を突き付けよう。

集約

政治革新 旧統一協会と関係の癒着、批判が高まる
安倍元首相の国葬、コロナ感染や物価高騰への対策など、国会で審議が急がれる重要課題が山積。野党は臨時国会の早期召集を求めたが政権は応じない。国民と国会への説明責任を果たさない姿勢を続けることは許されない。首相は野党の要求にこたえ、速やかに国会を開くべき。

真価を発揮し展覧を
JR 関連では、労働組合の処分案を持たない他労組が、組織的多数背景に団交権やスト権などの基本的任務をまともに行使しないもて噴出する要求を抑え込む役割を果たす。今こそ、時間的な制約がある中でたたかう国労の真価を発揮する中から展覧を開こう。

対し、国民を煽り、戦争が出来る国を作り上げようとしている。私たちは、ウクライナからロシア軍の即時撤退と外交での平和的解決を求めるとともに戦争のない平和な世の中をめざし、職場・地域から草の根の取り組みで迫っていかねばならない。

東京電力福島第一原発事故から十一年が経過したが、廃炉に向けた対策は進まない中、汚染水を福島県沖に放出する計画を強引に進めようとしている。また、政権は電力の安定供給を口実に従来の政策をも転換し、運転期間の延長、追加の再稼働や新設を狙っている。私たちは、原発再稼働を許さず、再生可能エネルギーへの転換と脱原発社会の実現を求め、あらゆる団体と協力・共同を図りながらその一翼を担わなくてはならない。

コロナウィルスは、変異を繰り返しながら感染拡大を続け、再び医療体制が逼迫している。また、コロナ、

ウクライナ侵略、円安により経済活動は停滞し、企業倒産、解雇や雇止めなど低所得者へのしわ寄せが深まる中、政権の不十分な政策により、格差は拡大し続けている。

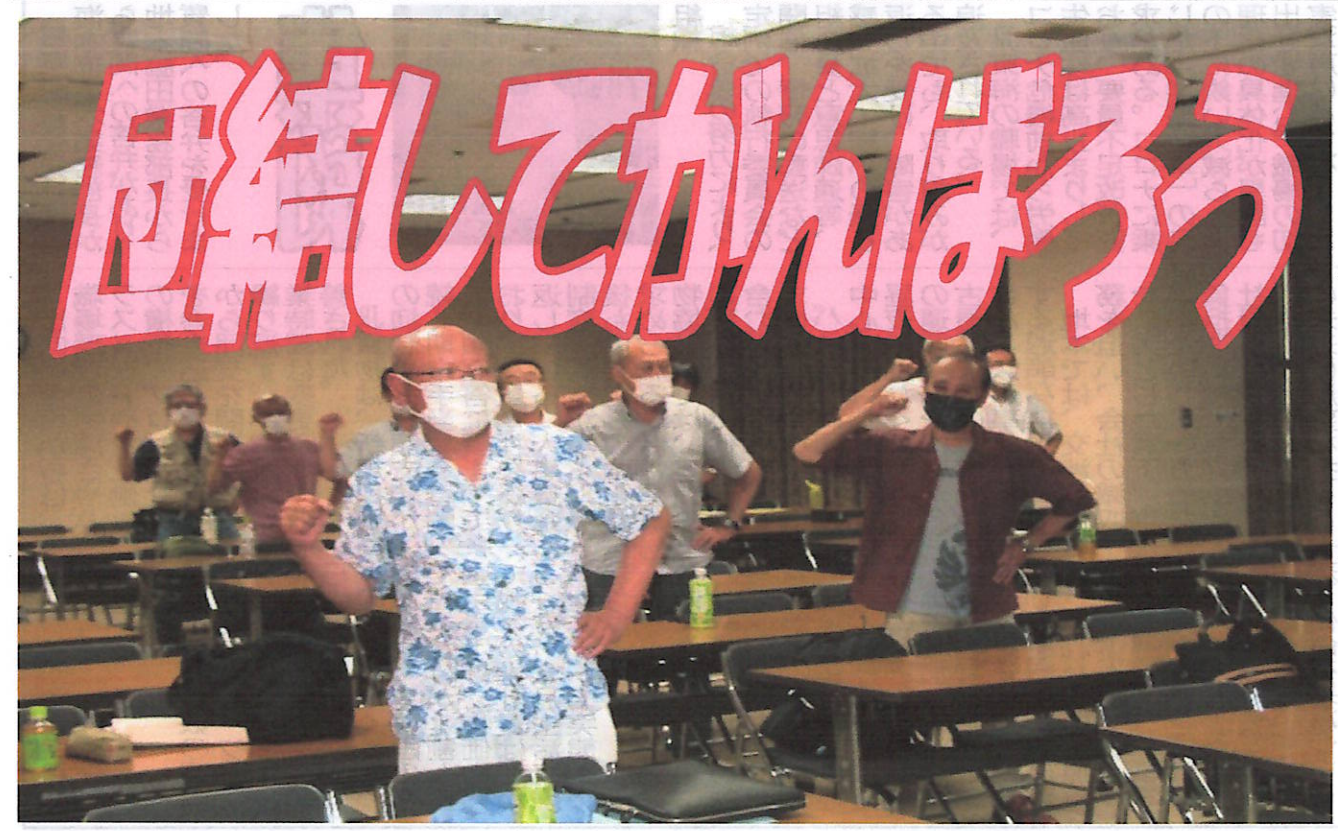
福知山線脱線事故から十六年が経過した。公共交通としてJRの社会的責任の履行や法令順守を求め、労働組合として職場からの点検・摘発や検証を行い、利益至上の企業姿勢のチェックが求められている。地方本部も加わる「鉄道の安全とサービス」の充実を求める東海の会」は利用者アンケート調査を繰り返し、利用者や地域住民からの切実な要求が生声として届けられ、今年も既に返信が六三〇通を超えている。会では、調査結果をまとめ、中部運輸局との要請においては事前の現場調査を求めるなど、実態を掴んだ上で行政に働きかけ、切り込んでいく。

JR各社では、収支悪化により、働く者に手当の大幅減をはじめ、賃金引き下げを押し付け、コロナ危機に乗じたグループ会社への労働条件悪化に拍車がかかると危惧されている。地方本部は東海鉄事との業務委員会やセントラルメンテナンズ会社との団体交渉を繰り返し、組織に展望を切り拓こうとしている。貨物やバス会社、グループ会社で働く者が仕事に誇りを持ち、安心して働ける職場をめざし、知恵と力を取り組みに注ごう。

国労名古屋地方本部は、結成から七十六年の長い歴史と伝統を持つJR及びグループ会社の産別組織として、その豊かな経験と実績を活かしきり、職場での労働条件や処遇改善に地道に取り組みながら、次世代にアピールし、働きかけ、たたかって前進をめざす決意である。

右、宣言する。

二〇二二年九月三日
国鉄労働組合
名古屋地方本部
第七十八回定期大会



大会宣言

本日、国鉄労働組合名古屋地方本部は日本特殊陶業市民会館第一会議室において第七十八回定期大会を開催した。ウィルスがあらたな変異を繰り返す感染急拡大の中での大変な大会となった。

大会では昨年の大会以降の経過とともに、向こう一年間の闘い、とりわけ組織拡大をすべての取り組みの根幹に据えつつ、JRの安全・安定輸送の確立、グループ会社を含むすべての労働者の処遇改善、原発再稼働を許さず、沖縄県知事選挙での勝利など国民的な課題に対する構えをつかみ、二三春闘での勝利に向け、決意を固め、運動方針を確立した。

七月の参議院選挙では、改憲に前向きな勢力が三分の二以上の議席を維持した。この選挙結果を受け、岸田自公政権は憲法九条を死文化させる改憲に向け、ロシアのウクライナ侵略を口実にした脅威に

め、賃金引き下げを押し付け、コロナ危機に乗じたグループ会社への労働条件悪化に拍車がかかると危惧されている。地方本部は東海鉄事との業務委員会やセントラルメンテナンズ会社との団体交渉を繰り返し、組織に展望を切り拓こうとしている。貨物やバス会社、グループ会社で働く者が仕事に誇りを持ち、安心して働ける職場をめざし、知恵と力を取り組みに注ごう。

国労名古屋地方本部は、結成から七十六年の長い歴史と伝統を持つJR及びグループ会社の産別組織として、その豊かな経験と実績を活かしきり、職場での労働条件や処遇改善に地道に取り組みながら、次世代にアピールし、働きかけ、たたかって前進をめざす決意である。

右、宣言する。

二〇二二年九月三日
国鉄労働組合
名古屋地方本部
第七十八回定期大会

安倍元首相の国葬中止を求める

安倍元首相の国葬に反対する市民の声を聞き、政府は国葬の中止を検討する。国葬は憲法に違反するとして、多くの市民が反対を表明している。政府は、国葬の開催に際しては、憲法の原則を尊重し、国民の意見を十分に聴き取らなければならない。また、国葬の開催には、巨額の費用がかかるという指摘もあつた。政府は、国葬の開催に際しては、国民の負担を軽減し、国民の生活を第一と考えるべきである。

国葬の開催に反対する市民の声を聞き、政府は国葬の中止を検討する。国葬は憲法に違反するとして、多くの市民が反対を表明している。政府は、国葬の開催に際しては、憲法の原則を尊重し、国民の意見を十分に聴き取らなければならない。また、国葬の開催には、巨額の費用がかかるという指摘もあつた。政府は、国葬の開催に際しては、国民の負担を軽減し、国民の生活を第一と考えるべきである。

で関に根別安わ一の天一をめ内式的の倍費額根論も政でが信法的国安に
あで、扱扱倍れ国国皇年挙た閣に根政三氏用支拠点国相治あり条が根葬倍予政
る唯国法い氏たの事退のげ内府閣扱府つこのの出、は葬心姿りろの保扱に晋定府
国一権令との例儀行位同る閣のすには、歴受さ税、を、を、に、自、証、が、は、三、し、が
会ののがなる。国は式為儀法が府所る、国、史当れ金法巡、を、か、元、す、由、な、明、元、て、二、七、
に立最ない。葬な一以式施行二設掌事国葬。的性るか令る。評、多ら上主。み相もな想、な相る七
も法高いはくが外な、行にと、○法定を儀法 価安額全のな てののい・ 憲法の故
諮府機上 特、行にと、○法定を儀法 価安額全のな てののい・ 憲法の故

るな史れも氏議ほ係教題やたの民を歳趣め支万し政す一、でら
るよ。的ば徹と員かも会に桜森私安主経出旨た出円て府る法決、内閣の
すのの、の評、底教との指と加を友物倍主主てはにががすを二はも治め
る相の国葬は中倍止るること求める。は安調団同自摘のえ見・化氏はに反
るよ。的ば徹と員かも会に桜森私安主経出旨た出円て府る法決、内閣の
すのの、の評、底教との指と加を友物倍主主てはにががすを二はも治め
る相の国葬は中倍止るること求める。は安調団同自摘のえ見・化氏はに反

2022年9月3日
国鉄労働組合
名古屋地方本部
第七十八回定期大会